

Green Brave

#52 Green Brave GR Supra GT



Round.2

FUJI GT 3HOURS RACE GW SPECIAL

2025 年 5 月 3 日（土）～4 日（日）富士スピードウェイ（静岡県小山町）

■スタート直後の接触による緊急ピットインが響き悔しい 26 位■

第 2 戦のレース時間は 3 時間。土曜日（予選日）の天候は晴です。85 分間の公式練習は 9 時から行われ、野中選手がコースイン。8 周ほど走行した後、吉田選手に交代します。吉田選手は同じタイヤのまま、ピットインを繰り返しながら走行。18 周目に 1 分 36 秒 664 のベストタイムをマークし、5 番手につけます。残り約 20 分でタイヤを交換すると、ベストタイムに迫るラップタイムで周回。10 時 25 分からの FCY テストと 10 分間の GT300 専有は野中選手が担当します。タイム更新はなかったものの、順位は 5 位。冬の間に大幅改良を受けた GR Supra はここ富士でも好調を維持しています。

ノックアウト予選（Q1）は A、B の 2 組に分かれて行われ、Green Brave は B 組に出場。ドライバーは吉田選手です。吉田選手はピットロードで少し待機してからコースイン。4 周目に 1 分 36 秒 116 のトップタイムをマークします。後からアタックを行った、複数のライバルが吉田選手のタイムを上回ったものの、堂々の 3 位。開幕戦に続く Q2 進出を果たしました。Q2 では野中選手がやや間を開けてコースイン。4 周目に 1 分 35 秒 940 の 4 番手タイムをマークします。アタックをまとめきれなかったと言うものの、7 位で予選を終え、表彰台はもちろん、優勝も狙えるポジションにつけることができました。

日曜日（決勝日）の天候は晴。チームはスタートドライバーに野中選手を起用。決勝中、2 回の給油を伴うピットイン義務があるため、タイヤの状況を見極めながら吉田選手につなぎ、優勝を目指します。決勝は 14 時 18 分から始まり、野中選手は 8 位で 1 周目を終了。翌周、さらに順位を下げ、9 位でホームストレートに戻ってきます。しかし、スタート直後の 1 コーナーで発生した接触後、リアウイングを破損。ポストから修理を命ずるオレンジディスク旗が振られ、3 周目の終わりにピットへ戻ります。ウイングの羽根部分を外し、さまざまな工具を駆使して修理を実施。23 分間にわたるスタッフの懸命な作業の末、元通りの姿になりました。レースに復帰した野中選手の順位は 27 位。トップから 14 周遅れの最後尾で、上位進出は不可能な状況ですが、しっかり、走り込んで有益なデータを持ち帰ることができるよう、プッシュします。19 周目、上位のリタイアにより、26 位に浮上。野中選手は 50 周目の終わりにピットに入り、吉田選手に交代します。給油のみのタイヤ無交換でピットアウト。順位は変わらず 26 位で、先行車との差は 11 周です。吉田選手も 1 分 38 秒台の力強いペースで周回。

65 周目には 3 回目のピットインを行い、給油とタイヤ交換を行い、ピットアウトします。フレッシュタイヤを使用する吉田選手のペースはさらに上がり、1 分 37 秒台をコンスタントにマーク。これは上位のライバルと肩を並べるスピードです。吉田選手は印象に残る速さを見せ、92 周目にチェッカー。結果は悔しい 26 位ですが、チームポイントを獲得し、次につながる結果となりました。次戦は 6 年ぶりとなる海外ラウンド（マレーシア）です。



決勝結果（GT300 クラス）

#52 Green Brave GR Supra GT
（吉田広樹／野中誠太）

決勝：26 位

（92 周、3 時間 02 分 02 秒 231）

予選：7 位（Q2：1 分 35 秒 940）



■■■ DRIVERS VOICE ■■■



吉田広樹 選手

予選後：マシンに速さがあり、問題なく誠太につなげることができました。オフシーズンの間にアップデートを行った部分が良くなっているので、それらを活かして上位に入ることができました。明日は天気安定していると思うので、走りやすいレースになると思います。富士とはマシンも含めて相性が良いので、しっかり良いレースをしたいと思っています。しっかり優勝を目指して、最低でも表彰台に登れるようなレースができると嬉しいです。納得できるレースをチームのみんなとしたいですね。

決勝後：長いレースの1周目だったので、あそこで勝負権を失ったのは本当に残念です。間違いなく勝負所ではあるので、誠太の気持ちもわかります。残念ではありますが、ちょっと難しい状況です。修復後のクルマに問題はなく、ペース的にすごく走りやすい状況でした。ちゃんと勝負できなかったところがもったいなかったのですが、今後のレースに活かそうという思いで走れました。しっかり走り切れたので、次につながる2スティントになったと思います。次のセパンはどのチームにとっても久々のレースです。自分たちにも十分チャンスはあると思うので、切り替えて頑張りたいと思います。



野中誠太 選手

予選後：岡山でのドライの調子はかなり良く、ここ富士でも調子を維持していました。アタックをまとめきった感じはないのですが、その中で7番手をとれました。GR Supraには上を目指せるパフォーマンスがまだまだあると思います。開幕戦の決勝では、コンディションがいろいろと変わる中、集団にのまれてしまいました。明日は安定したドライコンディションで走ることができます。未知な部分もありますが、今日の公式練習のフィードバックから言っても調子は悪くないと思います。最後までしっかり力強く走り切ることを目標にしたいと思います。

決勝後：スタート直後の1コーナーで、両側から抜かれそうな形になりました。3台並んで1コーナーを立ち上がったのですが、ぼくのリアと左側のクルマがヒットするような形になり、その後、接触の影響でリアウイングが破損しました。当たり所も悪かったと思います。レースに復帰したあとは、メカニックのみなさんがしっかり直してくれたので、問題ありませんでした。データをとるためにブッシュして走って、悪くないペースで走れたので良かったです。アクシデントで早々に沈んでしまったのですが、この経験をしっかりと活かして、次のセパンで優勝目指して頑張りたいと思います。

GT300 クラス決勝結果

順位	車名(車両)	周回数
1位	6 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI (フェラーリ 296 GT3)	107 周
2位	777 D'station Vantage GT3 (アストンマーティン ヴァンテージ GT3 EVO)	107 周
3位	2 HYPER WATER INGING GR86 GT (トヨタ GR86)	107 周
4位	7 CARGUY Ferrari 296 GT3 (フェラーリ 296 GT3)	107 周
5位	65 LEON PYRAMID AMG (メルセデス AMG GT3)	107 周
6位	45 PONOS FERRARI 296 (フェラーリ 296 GT3)	107 周
26位	52 Green Brave GR Supra GT (トヨタ GR Supra)	92 周

天候：晴 路面：ドライ トップ6 (出走 28 台)

GT300 クラス チームランキング

順位	ゼッケン	チーム名	ポイント
1位	65	K2 R&D LEON RACING	42
2位	26	ANEST IWATA Racing	31
3位	56	KONDO RACING	31
4位	6	VELOREX	28
5位	2	HYPER WATER Racing INGING	28
6位	4	GOODSMILE RACING & Team UKYO	26

28位 52 埼玉 Green Brave 1

トップ6

■■■■■ PARTNERS ■■■■■



Driving Mobile Media Innovation

アルパインマーケティング株式会社



株式会社アルシエ



株式会社 FM NACK5



小倉クラッチ株式会社



株式会社カーグラス・JP



株式会社カロッツェリアジャパン



埼群スリーボンド株式会社



株式会社セーフティライフ



大和ラヂエーター工業株式会社



株式会社 TAN-EI-SYA WHEEL SUPPLY



ティーズ・ワークス



東京麒麟ビバレッジサービス株式会社



BP カストロール株式会社



株式会社プロモーション



マックメカニクスツールズ株式会社



丸和工業株式会社



Mechanix Wear LLC



株式会社 REIZ

第3戦 6月27日~28日
セパン・インターナショナル・サーキット